第四期青森県がん対策推進計画の進捗状況

	番号	項目	現状値の出典	策定時（時点）	現状値（時点）	参考全国値	目標値	進捗状況	令和８年度までの主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性
アウトプット（施策）		**喫煙・受動喫煙防止対策**									
	A1	禁煙外来設置医療機関数	青森県がん・生活習慣病対策課調べ	152機関（R4年度）	135機関（R7年度）		増加	悪化	・受動喫煙防止対策として、県内著名人が出演する動画を作成、SNSによる広告配信や県庁広報枠を活用したスポットＣＭの放映(R7) ・タバコとCOPDに関する周知啓発動画を活用した啓発 ・青森市と共催し、世界禁煙デー及び禁煙週間における啓発活動「あおもりスモークフリー・アクション」の実施（アスパムを喫煙・受動喫煙防止のテーマカラーであるイエローグリーン色にライトアップ） ・受動喫煙防止対策状況調査（R8）	・受動喫煙防止について事業者や県民への浸透が不十分 ・子どもや妊婦等への受動喫煙防止対策として、法律で規制していない部分を県条例で配慮義務として課している。本県の喫煙率は低下傾向にあるものの、全国平均より高い状況が続いているため、喫煙者に対して周囲への配慮に関しての呼びかけが必要	・喫煙が健康に及ぼす影響に関する知識の普及啓発の継続 ・受動喫煙防止実施状況調査結果に基づき効果的な周知啓発等の取組を推進 ・禁煙外来設置医療機関数については、県庁HPでの情報提供を継続
		生活習慣の改善やがん検診受診率向上に向けた取組									
	A2	健康的な生活習慣やがん検診の意義・必要性等に関する情報提供による理解促進（青森県がん情報サービスへのアクセス件数）	青森県がん・生活習慣病対策課調べ	830,676件/年（R4年）	更新なし		100万件	評価困難	【生活習慣の改善】 ・減塩や野菜摂取等についての普及啓発 ・楽しんで参加できる運動イベントの実施 【がん検診受診率向上】 ・事業者が実施する健康診断と同日に大腸がん検診の受診を可能とするモデル事業を実施（R7,8） ・検診受診率向上のため、検診会場の託児スペース設置の支援や検診車等の受診環境整備（R6） ・職域におけるがん検診実施支援として、検診推進についての動画作成やチラシの配布（R6） ・事業者が検診を導入や運用する際の技術的支援を行う相談員の派遣（Ｒ６）	【生活習慣の改善】 ・健康的な生活習慣づくりや疾病に関する正しい知識の普及が不十分 ・乳幼児から高齢期までのそれぞれのライフステージにおける健康課題に対応した施策の展開が必要 【がん検診受診率向上】 ・がん検診受診率は全国平均より高いが、目標値には達していないことや、４０代から５０代のがん死亡率が高く、がん検診受診率が他の年代より低いことから、更なる受診率向上への取り組みが必要	【生活習慣の改善】 運動、肥満及び食生活の改善等、健康づくりに関する取組の継続 【がん検診受診率向上】 科学的根拠に基づくがん検診についての丁寧な情報提供、また、職域におけるがん検診受診率向上のための仕組みづくりの継続 ※指標が評価困難となったため新指標について検討（後述）

第四期青森県がん対策推進計画の進捗状況

アウトプット（施策）

番号	項目		現状値の出典	策定時（時点）	現状値（時点）	参考全国値	目標値	進捗状況	令和８年度までの主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性
がん検診の精度管理に係る取組											
A3	精度管理を実施している市町村の割合（国「事業評価のためのチェックリスト」８割以上実施の市町村）	胃がん	「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」（国立がん研究センター）からがん・生活習慣病対策課で算出	85.0%（R4年度）	82.5%（R7年度）		100%	悪化	・科学的根拠に基づくがん検診推進に向けた市町村担当者等研修会を開催 ・各市町村や検診機関に対しての精度管理に関する調査 ・生活習慣病検診管理指導協議会を開催（改善事項を市町村や検診機関にフィードバック） ・市町村に対する実地指導（R7,8） 【参考】 A３悪化の要因：国が示すチェックリスト項目について、R7から質問項目の細分化や更なる精度管理が求められているもの。全国的にも悪化傾向が認められている。	・科学的根拠に基づく適切で質の高いがん検診事業を提供することが重要 ・がん検診チェックリストの実施率は全国平均と比較して高い状況にあるものの更なる実施体制の強化に向けて、適切な精度管理によるがん検診実施率を向上させるための支援が必要 【参考】令和7年度 がん検診市区町村チェックリスト（ＣＬ）の全項目実施率（都道府県 順位表）	・研修会や協議会開催の他、チェックリスト実施率が低い市町村に対する個別の助言指導等の継続 ・悪化した項目について関係機関と連携し要因について検証を実施 ・指針外検診を行っている市町村への働きかけを継続。
		大腸がん		85.0%（R4年度）	82.5%（R7年度）			悪化			
		肺がん		85.0%（R4年度）	80.0 %（R7年度）			悪化			
		乳がん		87.5%（R4年度）	82.5 %（R7年度）			悪化			
		子宮頸がん		87.5%（R4年度）	80 .0%（R7年度）			悪化			
A4	指針外検診を実施している市町村数		青森県がん検診の状況に関する調査（がん・生活習慣病対策課）	29 市町村（R4年度）	2 市町村（R8年度）		0 市町村	改善（目標未達成）			
A5	がん登録データを活用したがん検診精度管理モデル事業参加市町村数		青森県がん・生活習慣病対策課調べ	16 市町村（R5年度）	17 市町村（R7年度）		40 市町村	改善（目標未達成）			
がん医療提供体制の拡充に向けた取組											
A6	がん診療連携拠点病院におけるがん関係認定看護師数		がん診療連携拠点病院現況報告（厚生労働省）	58人（R4年度）	88人（R7年度）		増加	改善（目標達成）	・国指定が未整備である西北五医療圏の地域中核病院であるつがる総合病院に対しての指定申請への助言、指導 ・拠点病院との共催により地域緩和ケア連携調整員研修を行う等、がん診療や連携体制構築のための取組に対しての支援 ・拠点病院等と連携したがんピアサポーター養成及びフォローアップ研修の開催（R8）	・各二次保健医療圏でがんの標準医療を受けられる体制の構築を図ることが必要 ・国における整備指針の改定を踏まえた対応が必要	・全ての二次保健医療圏に国指定のがん診療連携拠点病院等を整備できるよう、助言、指導等の継続 ・がん医療に関する専門的な知識・技能を有する医療従事者への研修など、がん診療や連携体制構築のための取組支援の継続
緩和ケア推進に向けた取組											
A7	緩和ケア研修修了者数		がん診療連携拠点病院現況報告（厚生労働省）	121人（R4年度）	118人（R7年度）		増加	悪化			

	R5	R6	R7
胃がん	90.0%	97.5%	82.5%
大腸がん	90.0%	97.5%	82.5%
肺がん	92.5%	92.5%	80.0 %
乳がん	90.0%	95.0%	82.5 %
子宮頸がん	87.5%	95.0%	80 .0%

	青森県	全国
胃がん	90.8%（11位）	79.3%
大腸がん	90.8%（12位）	78.8%
肺がん	90.8%（11位）	78.9%
乳がん	90.4%（12位）	79.1%
子宮頸がん	91.0%（12位）	79.1%